

令和4年度 年間事業計画

萩原保育園

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の収束のめどが立たず、引き続き感染対策を行いながら、子ども・職員の安全確保に努め、保護者の理解・協力を得ながら保育を進めていく。

現場においては、オミクロン株の特徴を踏まえた保育園での基本的な感染防止策の徹底を職員一同に周知すると共に、三密の回避、マスクの着用、消毒等の徹底を行い、保育の提供を継続出来るように努める。

子ども達は、感染リスクが高い活動を避けると共に感染を広げない保育の実践を意識して行う。

また、安全で衛生的な環境を整え、子どもが温かい関わりの中で安心して過ごしていけるように保育者としての人間性と専門性の向上に努め、保育の仕事に誇りと責任を持てるよう園内外の研修に取り組んでいく。

保護者参加行事等の、年間行事の内容についても、新型コロナウイルス感染症の状況を精査しながら進める。

【令和4年度の重点的取り組み事項】

1. 保育内容の向上

- (1) 主任を中心として職員間の意思疎通を図りながら、保育士同士で保育に関する話し合いの場をできるだけ設け、保育の質の向上に努めていく。
- (2) 年間行事は実施予定ではあるが、コロナ禍であるため工夫を凝らし、現状に即した内容を計画し実施する。
- (3) 0歳児担当制については、より一層細やかな保育ができるよう話し合いを進め、計画し実施する。
- (4) 園内研修の取り組みの充実
 - ・副主任を中心とした「遊びを豊かにする言葉の研究研修会」の取り組みへの理解を深め職員が主体的に参加し学ぶことの出来るように工夫を行う。
 - ・職員自身の学ぶ意欲が高まるよう、研修計画を職員と共に作り上げていく。
- (5) 当法人内6施設における法人内研修の取り組み
 - ①令和3年度に引き続き「ことば」を柱に保育者自身の振り返りを行う。
 - ア 職員全体の意識の向上に努め、施設全体の保育の質を高める。
 - イ 令和4年度は、副主任を中心に、昨年度に引き続き、ことばについての取り組みや反省及び見直し点・課題等を踏まえながら年間計画を立て取り組んでいく。
 - ウ 課題等については、講師を招聘し指導助言を受けながら解決策を探っていく。
 - エ 研修は、年4回開催する。なお、感染症対策のためオンラインによる開催とするが、状況を見ながら参集方式も取り入れる。
 - ②令和3年度は、6施設の主任を中心に「保育士の心得(冊子)」を作成しており、令和4年度は、この冊子を基に職員間で再確認し意識の向上を図る。

2. 円滑な園の運営と充実を図る（全て新型コロナウイルス感染症の様子を見ながら、実施）

(1) 地域交流

年4回地域の年長者との交流や近隣の老人施設との交流の充実を図る。

(2) 未就園児交流

子育て支援「あそぼう会」の継続・青山市民センターでの出前育児を行う。

(3) 保小の連携

青山小学校との交流の充実

3. エコ活動の取組

リサイクルの取組→ダンボール・ペットボトルのキャップの青山市民センターへの持ち込みを継続していく。

4. 施設整備及び管理

(1) 空調設備が16年経過し、修理の際、部品が製造されていないことがある為、全体の交換行う。

(2) 園舎に関しても保育室内の床・ドアや窓・門などの修繕箇所が増えることが予測されるため、計画的に修繕を行う。

【4月入所予定児童数】

定員120名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月入所予定児童数	7名	20名	20名	18名	23名	21名	109名

【一時保育利用状況 見込数】

未満児		以上児		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
10件	20,000円	0件	0円	10件	20,000円

※通常保育の集団構成と異なることから、一人一人の子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

保育園に来た子どもにとって気持ちよく、ゆったりと過ごせるように心がける。

≪ 職員配置 ≫ 必要に応じて日々雇用職員を雇用

【延長保育利用状況 見込数】

利用登録人数(年間)	150名	平均実利用者数	5名
------------	------	---------	----

※長時間保育になるので、ゆったりとくつろげる雰囲気作りに心がける。

縦割り保育の利点を十分に活用し、保育を行う。

≪ 職員配置 ≫ 正規保育士 1名(時間外にて対応)・臨時保育士 1名

1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人一人の特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

- (1) 十分に養護の行き届いた温かい環境をつくる。
- (2) 愛情と信頼関係をはぐくみ、人間性の輪を広げる。
- (3) 園外保育や地域の行事を積極的に取り入れる。
- (4) 日常生活の会話を通して豊かな言葉を養う。
- (5) さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を培う。

3. 保育目標

一人一人の子どもの個性を大切にしながら、心身共に健やかに生活し、将来健全な社会人に育つための基本を培う。

- ・ 健康で元気に活動できる子ども
- ・ 自分で考えて行動することができる子ども
- ・ 思いやりのある優しい心をもつ子ども
- ・ 人の言葉や話などを聞き自分で思ったことを伝えられる子ども

○ 保育内容

年齢（月齢）別に指導計画を立て、子どもの「やりたい」気持ちを尊重しながら安定した生活が送れるようにする。

- ・ ゆったりとした楽しい雰囲気の中で、基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・ 友達との遊びを通して、社会性・協調性・仲間意識・友達への思いやりが育つようにする。

○ 行 事

年間行事(地域交流) 予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊び遠足等は事故防止対策について職員間でよく検討してから実施する。
- ・ 生活発表会、運動会等は一人一人を大切にしながら全児を公平に参加できるようにする。

○ 安全対策

- ・ 避難訓練を毎月1回、多様な場面・時間を想定して行う。年1回は消防署立ち会いの総合訓練を行う。
- ・ 交通安全指導及び設置遊具の安全指導を行い、合わせて安全点検を随時行う。
- ・ 施設内外の安全点検に努め、安全対策のために全職員の共通理解や体制づくりを図る。
(様々な災害に対してのマニュアル等の再点検と修正、不審者の立ち入りなどの緊急時の体制、火災発生時の体制、地震・風水害時の体制等)

- ・ 「ヒヤリ・ハット」の報告を大切に、園全体で情報を共有し安全保育に努める。
- ・ 送迎時における安全確保のため、駐車場内での子どもの車の乗降や手をつないで園内に入ることの周知徹底をはかる。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・ 食中毒等については、常に衛生管理に気を付け、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の在宅乳幼児を園に招き、交流をもつ。
- ・ 地域の年長者を招待し、交流を行う。
- ・ 小学校との交流体験を行う。
- ・ 卒園児を招待し、在園児との交流を深める。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

(保育時間を超える時間は、延長時間として対応)

○ 保育担当

クラス担当保育士、調理業務担当、事務担当を定める。

○ 職員研修

- ・ 全国大会をはじめ県、市が行うものまた、保育士会、社会福祉研修所の各種研究研修会に参加する。
参加した者は報告を行うと同時に、園内研修へと広げていく。
- ・ 毎月の職員会議において、指導計画の立案、問題点について話し合い共通理解をもつ。

4. 保育担当者 (別紙2の通り)

5. 保育設備

(1) 敷地 北九州市八幡西区青山一丁目7番50号 1, 162. 73㎡

(2) 建物 鉄筋コンクリート造 2階建 819. 75㎡

6. 資金計画

通常経費は、
 ・委託費収入 ・利用者等利用料収入 ・補助金事業収入
 ・その他の事業収入 ・借入金利息補助金収入 ・受取利息配当金収入
 ・受入研修費収入 ・利用者等外給食費収入 ・雑収入

等によるものとする。

【 令和4年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	令和4年度 入園・進級式 *各クラスにて 園庭安全指導 交通安全指導	全 児 全 児 全 児	保 育 園 内 保 育 園 内・園 庭 保 育 園 内・園 庭
5 月	健康診断 1回目 職員健康診断 シルエット劇観劇 不審者訓練	全 児 職 員 年 長 児 全 児	保 育 園 内 健 康 セ ン タ ー 未 定 保 育 園 内
6 月	保育参加・給食試食会 卒園児交流会 歯科検診 プラネタリウム見学	全児・保護者 全児・卒園児 4・5歳児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 児 童 文 化 科 学 館
7 月	七夕まつり プール開き おまつりごっこ	全 児 全 児 全 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
8 月	プール納め	全 児	保 育 園 内
9 月	大運動会	全児・保護者	青 山 小 学 校
10月	健康診断 2回目 青山小学校音楽会見学 青山市民センターまつり参加 消防総合訓練 親子ふれあい遠足	全 児 4・5歳児 3・4・5歳児 全 児 全児・保護者	保 育 園 内 青 山 小 学 校 青 山 市 民 セ ン タ ー 保 育 園 内 グ リ ー ン パ ー ク
11月	親子クッキング 車椅子バスケット観戦 交通安全指導	年長児・保護者 年 長 児 年 長 児	保 育 園 内 総 合 体 育 館 交 通 公 園
12月	生活発表会 クリスマス会 ミニ発表会 もちつき大会 年末地域清掃	全児・保護者 全 児 全 児 全 児 全児・地域住民	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 周 辺

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 月	縦割り保育	3・4・5歳児	保 育 園 内
	作品展・おみせやさんごっこ	全 児	保 育 園 内
	郵便ごっこ	3・4・5歳児	保 育 園 内
	かるた大会・たこ作り・たこあげ大会	年 長 児	保 育 園 内
2 月	節分・豆まき	全 児	保 育 園 内
	保育参加・講演会	全児・保護者	保 育 園 内
	プラネタリウム見学	年 長 児	児 童 文 化 科 学 館
3 月	ひなまつり	全 児	保 育 園 内
	就学前交通安全指導	年 長 児	交 通 公 園
	お別れ遠足	全 児	未 定
	お別れ会食	全 児	保 育 園 内
	お別れ式	全 児	保 育 園 内
	卒園式	4・5歳児	保 育 園 内
	修了式	在 園 児	保 育 園 内

1. 月例行事

- ・ 誕生会 ・ 避難、消火訓練（不定期～地震・水害） ・ 身体測定
- ・ 音楽指導（3歳以上児） ・ 給食関係職員O-157検査 ・ 定例職員会議
- ・ 園内研修 ・ 図書貸し出し ・ 毎月始め～園便り・クラス便り（必要に応じて）
- ・ 献立表・給食便り発行

2. その他

- ・ 一日保育士体験、中・高生の保育園実習 ・ ボランティア体験学習受け入れ
- ・ 小学校との交流（年間4回程度） ・ 萩原遊ぼう会（年間6回程度）
- ・ 年長者交流会（年間4回程度） ・ お泊り保育（年長児） ・ 個人懇談
- ・ 消防設備機器点検 ・ 設置遊具等の安全点検
- ・ 月曜集会（3歳以上児）・月曜集会体操（全児）
- ・ 青山まちづくり協議会に参加し、地域との連携を図る。
- ・ 事業協会 施設長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育者、調理員としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加できるようにする。

4. 青山市民センター及び育児サークル等の活動に積極的に参加し、子育て支援を行う。

※ 令和4年度保護者説明会・クラス懇談会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止し、在園児はきっぷノートにて説明会内容を知らせ、新入児は入所面接時に書類配布し、説明を行う。

※新型コロナウイルス感染状況によっては、延期または中止となることもある。